Vol. 36
美樹会会報
すずらん
Hiroshima Bunkyo University

卒業して何年経っても絆を感じられる幸せ

同窓会美樹会
会長　**白根　悦子**（旧姓：山田）
平成10年 文学部 初等教育学科卒業

今年度で美樹会会長を務めて2年目となります。美樹会会員の皆様、職員の皆様、先生方に支えていいただきながら、何とか務めております。

令和6年度は、文教祭と卒業式に参加しました。文教祭では、コロナ禍前に戻ったかのようなにぎわいを見せていました。限られた学生生活を悔いのないよう、楽しんでいただければと思っていましたので、とても嬉しく思いました。各学部やサークルなどの出し物や出店は、工夫を凝らされたものばかりでした。学生同士ばかりでなく、地域や保護者など、様々な方々との交流の様子が見られました。今後社会や地域に出た時に必要なコミュニケーション力を高めるとてもよい機会だと感じました。また、卒業式では、卒業生の方々の凛々しい姿に心を打たれ、卒業への思い、そして、次の進路に向けての期待や決意を感じました。

プライベートでは、令和6年8月に、岡利道先生と、当時の文学部初等教育学科国語科ゼミの同級生とで初の同窓会を開催しました。県外のため参加できなかったゼミ生も、花を贈ったり、寄せ書きをしたりしてくれて、岡先生に近況報告や感謝の気持ちを伝えることができました。コロナ禍を経て、みんなの都合を合わせて、ようやく開催できましたが、会った瞬間、私の気持ちはすっかり学生に戻り、恩師を囲んで懐かしい思い出話に花を咲かせ、幸せな時間を過ごすことができました。このように、広島文教大学は、卒業してからも「絆」を感じられる恩師や友人と出会える場であると実感しています。このような魅力あふれる広島文教大学を一人でも多くの方々に知っていただきたいと願っています。

美樹会では、時代の変化に合わせて、広報「すずらん」の発送をやめて、ホームページで幅広く広島文教大学の魅力をお伝えするようにしました。同窓生の皆様をはじめ、これから進路を考えておられる学生の皆様などにも関心をもっていただければ幸いです。

第47回 美樹会総会同窓会のご案内

第47回美樹会総会・同窓会を開催いたします。同窓生の皆様には、思い出話や近況報告など、楽しいひと時をお過ごしくだされればと思います。
役員一同、みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

日時　令和7年11月1日（土）

スケジュール

10：30〜10：50（20分）	総会
10：50〜11：40（50分）	講演等（学生サークル・噂通りの会）
11：40〜11：50（10分）	写真撮影・休憩・移動
11：50〜12：30（40分）	閉会

会費　2,000円（総会・懇親会準備費）
※在学生無料

イベント
①大文字祭り主催者・参加学生サークルによる講演
②記念撮影
③懇親会（お弁当あり）

※同日、文教祭（大学祭）も開催しております。ぜひお楽しみください。同窓会美樹会でも、フリーマーケットを実施しております。お気軽にお立ち寄りください。

場所　広島文教大学121教室（1号館2階）
広島県広島市安佐北区可部東1丁目2番1号
TEL 082-814-3191（代表）

・JR可部線をご利用の方…「中島駅」下車 徒歩15分
・「広島交通」「広島電鉄」「中国JRバス」をご利用の方…国道183号線のバス停「広島文教大学入口」下車 徒歩約10分

申込

・**申込みフォームへのご入力**
URLまたは二次元コードを用いて申込フォームにお入りください。
https://forms.office.com/r/HMDWxBdLtT

・**お電話**
082-814-3191（代表）までお電話いただき、「同窓会美樹会総会への参加申し込み」の旨をお伝えください。必要情報をお伺いいたします。

・**申込期限**
10月10日（金）までにお申し込みください。

学長職3期目にあたって

学長　**森下　要治**

本年4月より、学長職3期目を勤めさせていただくこととなりました。浅学の身に荷の重いことではありますが、美樹会会員の皆様におかれましては、引き続きましてご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

思いもかけず3期目を務めることになりました。4年前に2期目を拝命しました折の本誌『すずらん』に記した拙文の末尾には「虚心に耳を傾けることを心がけてまいります」と記しています。その思いは今も変わりませんが、1期目・2期目に比して私立大学を取り巻く情勢が加速度的に厳しさを増す中で、学生のため、大学・学園のために、正解の見えない選択や決断を求められることも多くなろうと思います。そのようなときに、虚心に耳を傾けられるかどうか、不安がないわけではありません。

1期目を拝命しました8年前、また2期目を拝命しました4年前の本誌でのご挨拶に、私はいずれも評論家・加藤周一「『羊の歌』その後」から、シェークスピアの『ハムレット』の一節に触発されて書かれたと思しい次の言葉を引用しています。

「この天地の間には、お前の哲学が夢想するよりも、もっと多くの事がある」と私は私自身に向って呟いている。

（平凡社ライブラリー『加藤周一セレクション』第5巻所収）

おおもとの『ハムレット』の文脈では哲学（人智）など及びもつかないこの世の不思議さを語ったこの言葉を、加藤は「であるからこそ、もっと学び続けなければ」と一歩踏み出して記したのだろうと、私は理解しています。そしてそのように記した加藤の姿勢こそいま私が改めて学ぶべきものであると、自分自身に言い聞かせています。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

ご挨拶

副学長　**田村　進**

今年度より副学長を拝命いたしました。よろしくお願い申し上げます。

男女共学化という大きな改革を断行して、今年が7年目になります。今年度の在籍学生に占める男子の比率はおよそ37%であり、徐々にその割合が大きくなっています。近年は新しいサークルがいくつも立ち上がり、授業終了後の体育館はさまざまなサークルが日替わりで活動するというにぎやかな状態で、女子大だったころとは違った面も多々見られます。

このように本学は変わりつつありますが、それ以上に私たちを取り巻く環境の変化は近年ますます激しさを増しつつあり、大学においてもさまざまな影響を受けています。空前の「売り手市場」となっている就職採用は、学生たちにとって大きなメリットであるという側面もありますが、異常に加速化した就職採用の早期化は、学生たちに学修時間の確保を困難にさせているとも言えるでしょう。また、18歳人口の減少は、入学定員未充足となる大学の増加を招き、社会人に求められる「協働」を身につけることを可能にする適切な学修環境の確保を難しくさせ、学生たちの学びの深化を妨げているとも考えられます。

一方で、これらの困難への直面は、私たち自身を「変化」または「伸長」させるチャンスとも言えます。このチャンスを生かすべく、本学においても学生の能力を伸長させるさまざまな取組を行っているところですが、学内者からは見えにくい内容も多くあることと思います。是非とも、卒業生の皆様ならでは視点で、お気づきの点等をお知らせいただきますようお願いいたします。

いつもお願いばかりで恐縮ですが、引き続きよろしくお願いいたします。

第64回文教祭【響喜乱舞】

開催日：令和7年11月1日（土）13:00～18:00
11月2日（日）10:00～18:00

＊最新情報は大学公式webサイトまたは大学祭実行委員会公式Instagramをご確認ください。

第64期大学祭実行委員会です。今年度の文教祭のテーマは、「響喜乱舞」です。今年は、コロナ禍前同様、2日間開催かつ両日ともに外部からのお客様を入れて行う予定です。また、毎年恒例となったカラオケ大会や、有志発表、ゲストの方の出演だけでなく、附属高校の方々の発表を行い、交流を深めていきたいと考えております。

今年の大学祭は、去年よりも、かつ以前の大学祭よりも多くの人が楽しめるものにという想いを込め、狂喜乱舞を喜びを響かせるという意味に変え「響喜乱舞」としました。

皆さまに楽しんでいただけるよう大学祭実行委員会一同精一杯頑張りますので、お時間がございましたら是非お越し下さい。心よりお待ちしております。

大学祭実行委員長　心理学科3年　藤井　祐輔

サークル紹介

サッカー部

サッカー部は、女子大時代の2007年に創部してから今年で19年を迎えました。2023年に新体制となり、今年度4月より男子チームの活動も始まりました。現在は男女合わせて35名ほどの学生が中国・四国・九州各地から集い、練習に励んでいます。選手として活動する学生だけでなく、指導者や審判員、マネージャーとして活動する学生も所属しており、全員で主体性をもって取り組んでいます。

女子チームは、昨年までの2年間、学内だけで選手が11名揃わず、合同チームで大会に参加していましたが、今年度は5名の入部があり、単独チームで活動しています。冬に開催される大学選手権に向けて、全国大会1勝という目標を掲げて頑張っています。

男子チームは、現在、大会には参加しておらず、週2回の練習と月1回の練習試合を行っています。部員の多くは高校卒業時に競技志向のサッカーから離れた人ばかりですが、主体性をもって活動する大学サッカーの楽しみを感じた20名もの学生が集まりました。部活動を通して、一人ひとりが成長できるよう頑張っています。

これからサッカーを通してこの広島文教大学を盛り上げていきたいと思いますので、応援のほど、よろしくお願いいたします。

人間福祉学科　ボランティア活動紹介

人間福祉学科は、正課外で様々なボランティア活動に参加できることが大きな魅力の一つです。ボランティア活動の中にはボランティア先が企画・運営した活動に参加するものもあれば、ボランティア先から企画・運営まで任されて活動を行うものもあります。後者のボランティア活動は、学生自らが主体的に考え動くことが求められます。その一つの例として広島市中央公民館で開催される「ことぶき大学」があります。地域住民が健康や歴史、芸術など様々なテーマについて学ぶ講座です。「ことぶき大学」の参加者は概ね60代以上の高齢者で、この活動は広島市の「高齢者イキイキ活動ポイント」の対象になっています。

この講座に学生が例年ボランティアとして参加し、学生自らプロジェクトを立ち上げ、企画・運営を行います。令和6年度は「Kotobuki・広島文教大学コラボスポーツデイ」という企画で脳トレクイズ、人力そうめん流し、食べ物パニックと名を打ったゲームを考え、実施しました。この活動を通して、学年の垣根を越えてイベントを企画することの楽しさを実感しました。そして、多くの人と関わることで視野が広がり、高齢者の方に元気をもらうことができました。企画・運営に責任をもって取り組み、そこで得られる達成感は他ではなかなか得られないものでした。参加してくださった方からは「若者にかえって必死に頑張ることができ、楽しかった」「色々な脳の体操等、日常と違ったことをして大変よかった」など、大変にご好評をいただきました。令和7年も9月開催の講座に企画・運営の依頼が入っており、学生主体で取り組みを進めています。

このように人間福祉学科では、地域と密に関わって活動できる機会が多くあります。社会貢献がしたい、自分探しをしたい、スキルアップをしたい、どんな理由でも参加が可能です。今後もボランティアを通じてさまざまな経験を積み、充実した大学生活を送っていきたいと思います。

人間福祉学科3年　岡村　風香、藤岡　佳奈

「LCICジャパンデスクの紹介」

LCICジャパンデスク　田桑　竜治

LCIC ジャパンデスクは、ラプラプセブ国際大学（以下、LCIC）直轄の日本事務局として 2021年に開設しました。広島文教大学の一室に事務所を設け、現在「2名」で業務にあたり、広島文教生をはじめ日本全国の大学生に「LCIC留学」を広める活動を行っております。

主な業務内容としては、日本国内約800ある大学に対し、「LCIC留学」を紹介し学生に参加してもらうための「営業業務」と、ご参加いただく学生に安全確実にフィリピンまで渡航いただくための「フォロー業務」の2つです。

私が、LCICに携わる様になった2年前（2023年7月頃）には、お付き合いのある大学は20校程度で、業務の半分程度が広島文教生に対するものでした。

しかし、最近では「LCIC留学」の事をご認識いただいている大学は250校を超え、各大学などからのメールは1日30通を超える事もあります。

現時点で、日本の夏季休暇に当たる8・9月に開講するコースへ参加の日本人留学生は402名（内、広島文教生13名）まで増え、台湾、韓国等を含めると640名程度となる見込みです。

また、最近ではこれまでの「留学生専用プログラム」だけでなく、一定の英語力を有していれば、フィリピン人学生と一緒に学部授業を受けることが出来る「学部留学」等も可能となるなど、業務幅も大きく広がって参りました。

これからも、グローバルに活躍できる人材を育成するため「LCIC留学」の普及に努めるとともに、広島文教生には、在籍中に是非LCICに留学していただき、貴重な経験を積んでいただける様、スタッフ一同業務に邁進して参ります。

同窓会美樹会　報告

令和6年度決算について以下の通り承認されましたのでご報告させていただきます。

令和6年度決算報告

（自：令和5年4月1日　至：令和6年3月31日）

《収入の部》　前年度繰越金　9,607,484 円－①

科　目	予算額	決算額	増減額	備　考
同窓会会費	3,156,000	2,076,000	▲1,080,000	12,000円×173名
利　息	200	4,914	4,714	
総　会	0	0	0	
小　計	3,156,200	2,080,914	－②	

収入合計（①+②）= 11,688,398円－③

《支出の部》

科　目	予算額	決算額	増減額	備　考
行事運営費	0	0	0	
会報作成費	2,000,000	1,270,794	729,206	
奨学金	1,205,500	721,980	483,520	
慶弔費	60,000	65,000	▲ 5,000	
卒業記念品	300,000	245,550	54,450	
文教祭	20,000	20,000	0	
美樹会文庫	60,000	57,602	2,398	
会議費	95,000	10,960	84,040	
通信費	55,000	10,640	44,360	
雑　費	20,000	1,012	18,988	
小　計	3,815,500	2,403,538	－④	

次年度繰越金（③-④）= 9,284,860 円

同窓会美樹会奨学金授与式

7月23日（水）に、令和7年度同窓会美樹会奨学金授与式を執り行いました。

式は、森下名誉会長、植田参与、橋村参与御参列のもと、開催いたしました。森下名誉会長からは、「同窓会美樹会奨学金は、同窓生の会費のおかげで成り立っています。そのことを忘れずに、勉学に励んでください。」と御言葉をいただきました。また、学生代表挨拶では奨学生としての抱負が語られ、学業や学生生活への決意が述べられました。

退職された先生

（令和6年4月1日～令和7年3月31日付）

大　学

- グローバルコミュニケーション学科 教授　松原 淳一 先生
- 心理学科 准教授　阿部 夏希 先生
- 教育学科 講師　江尻 沙和香 先生
- 教職センター 特任講師　小川 雅史 先生
- BECC 特任講師　オーエン クリスタ 先生
- BECC 特任講師　ケリー ローズ 先生
- 人間福祉学科 助教　五百竹 亮丞 先生
- 人間栄養学科 助手　末岡 沙和子 先生

学園統括部

- 武田学園副理事長 兼 学園統括部長　金本　潔 先生
- 学長室 室長　中島 伸夫 先生
- 入試広報課 担当参与　若林 裕二 先生
- 就職課 事務職員　谷垣 ゆかり 先生
- 総合支援課 施設担当 事務職員　山本 義之 先生
- 淳風寮 舎監　竹本 真里 先生

広島文教大学同窓会美樹会「LINE公式アカウント」を開設しました!

会員の皆様に喜んでいただけるような情報を、LINEを活用して発信いたします。
LINEを利用されている同窓生の皆様のご登録（友だち追加）をお待ちしています。
友だち追加は以下のURLまたは二次元コードからお願いします。
https://lin.ee/X8G4Zve

美樹会文庫コーナーの設置

本学附属図書館には、「美樹会文庫コーナー」を設置していただいています。学生の皆さんが有意義に図書館を利用していただけるよう、図書館イベント「ブックハンティング」の活動支援を行っています。

文教生が奏でる♪ Harmony

令和4年　人間科学部　初等教育学科卒業　森多 むつみ

卒業後広島市の保育園で保育士をしています。子どもたちに元気をもらいながら楽しく仕事ができています。大学時代の友人とも今でもよく会っており、先生方にも相談に乗っていただいているため、改めて文教で過ごした日々は宝物だったと感じています。今は美樹会役員として文教に関わらせていただいているので、卒業生の窓口としても頑張って行きたいと思います。

令和4年　人間科学部　初等教育学科卒業　足谷 桃花

私は今小学校教員として毎日元気いっぱいの子どもたちと過ごしています。文教でたくさんの仲間と出会い、今でも連絡を取り合ったり、会ったりして懐かしい話をしています。楽しかった学生生活を思い出しながらこれからも頑張ります。

事務局より

- 住所、名前の変更、ハーモニーの原稿を投稿してくださる方は、下記の受付フォーム、メールまたはお電話、お手紙にてお知らせください。

「美樹会登録内容変更届・ハーモニー投稿フォーム」
（URLまたは二次元コードを用いてアクセスをお願いします。）
https://forms.office.com/r/EHnqQhzcPH

- ご結婚を予定されている方は、美樹会より祝電のお祝いをさせていただきます。学科、卒業年、名前、新姓のほかに結婚式の日時、式場名、式場の住所を、下記の住所までお手紙、またはメールにてお知らせください。
- 会報に関するご意見、ご感想など、お気づきの点がございましたら、学科、卒業年、名前を明記の上お寄せください。

編集後記

創立者 武田ミキ先生が、学園のことを「うち（家）」と表現されていた事が記憶に残っています。淳風寮では、「行ってきます」「ただいま」「おやすみなさい」と挨拶が交わされており、「第二の故郷（家）です。」という寮生に出会った事もあります。このように、「同じ空間にいる」という感覚が自然と生まれお互いのつながり“絆”が紡がれています。

そして‘育心育人の絆’は、グローバル化の現代へ‘ミャクミャク’と繋がっています。

今年は、同窓会が開催されます。どうぞ‘絆との出会い’を楽しみにお越しください。

学園統括部　淳風寮　乙田 尚子（昭和62卒業短期大学部食物栄養学科22期）

令和7年8月8日発行／広島文教大学同窓会美樹会
〒731-0295　広島市安佐北区可部東一丁目2番1号
TEL（082）814-3191（代表）　FAX（082）815-6801
E-mail　mikikai@h-bunkyo.ac.jp　編集：レターブレス株式会社